

下田市景観計画の概要

景観計画とはなにか

下田に住んでいる人が、毎日うれしく暮らせるまち。
下田にきた観光客の人が、楽しく過ごせるまち。
下田がそんなまちであるために、
下田の風景や歴史的な建造物を生かし、
美しいまちなみをつくろう！
そのためのルールづくりを考えるのが景観計画です。

下田まち遺産を未来へ

下田のまち遺産を未来につなげていくことが、景観計画を進めるうえで大切なことだと思います。



まち遺産てなにさ？

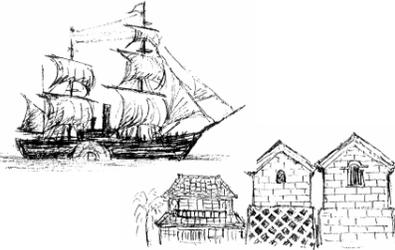
自然

海、川、山、田園風景、温泉など豊かで美しい自然環境



歴史

開国の歴史や文化を表す建物、施設とそれらが集まったまちなみ



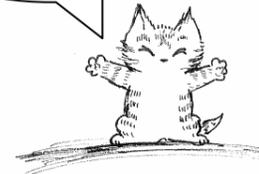
まち遺産とはなにか

下田の人たちが、昔から大切にしてきたもの。

そしてこれから新たに大切にしていきたいものが下田まち遺産です。



ちゃんと知っていたのだ



—まち遺産の要素—

- ・下田を象徴しているもの
- ・人々にとって誇りと感じるもの
- ・これからも継承していきたいもの
- ・下田らしいもの

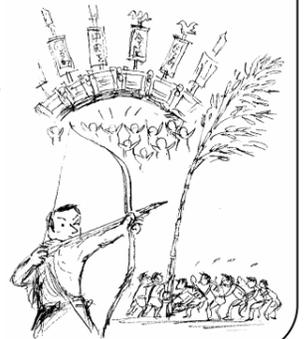
人の暮らし

下田の自然環境や文化に特有の漁業、農業、産業、職人技



文化

歴史に根付いた、祭り地域の行事伝統芸能



知る

みなさんの周りにある、まち遺産の良さをみなさんが再確認すること。また、下田市としては、それらを広めるため、パンフレット、マップ、**広報活動**をしていきます。

創り・育てる

・今ある、海、山、川などの自然景観を維持・管理し、次の世代に引き継いでいくために、市として率先してこれら地域の清掃、美化活動を行います。また、それらの市民活動を奨励、**バックアップ**していきます。
・またこれらの場所で、市民と観光客が、親しみの持てる場として活用していけるよう、市としてイベントを立案したり、**市民の活動を支援**していきます。
・伝統的行事の充実・活性化のために、若い人たちが理解し、引き継いでいきやすくなるような**環境づくりや支援**をしていきます。
・これから、**新たなまち遺産**をつくり出したり、まち遺産となり得るようなものを発掘するため、市民のみなさんのご意見を聞き、新しい芽が育っていくようにします。

支える

・現在あるまち遺産をこれ以上減らさず、維持・保存していくために、何をすればよいのか考え、行動していきます。
・過去の建造物などを大切に維持し、新たな活動の場として再生しやすくなるような**サポート体制**を確立します。

景観重点地区

景観誘導ゾーンのなかで、特に貴重な、まち遺産が集中している場所を景観重点地区として選びます。

ペリーロード沿道地区 (候補地区)



地区内に検討組織等が設立されている地区を「候補地区」として、早期の指定を目指します。

しかし近年、これらのまち遺産と呼べる、自然や歴史的に価値ある建物、伝統的行事、仕事などが、世の中の急激な変化のために減ってきています。
下田のまち遺産をこれ以上減らさないために、また、できれば**増やしていくためには、どうしたらよいのでしょうか。**



旧町内ゾーン



下田の歴史や文化、自然にかかわる人々の暮らしが今もたくさん残っている

下田港周辺ゾーン



開国の歴史ある港でもあるし、漁業、流通の玄関口

海岸線ゾーン



海水浴、ヨット、釣りなど美しく変化に富んだ海岸線

景観誘導ゾーン

まち遺産が多く、下田の特徴を醸し出している場所を景観誘導ゾーンと呼び、次の5か所を選びました。

蓮台寺温泉ゾーン



昔からの湯治場の雰囲気大切に情緒のあるまちなみ

里山ゾーン



稲生沢川沿い流域の緑に囲まれた里山地区

下田まち遺産を支えていくために（景観誘導の考え方）

歴史的建造物などを維持・管理・復元し、次の世代に引き継いでいくために、市として保護活動や活用方法の創出に、積極的にかかわっていきます。

また、市民のみなさんにも理解ある行動をしてもらえるような、広報活動やバックアップ的な活動体制を作っていきます。

たとえばこんなとき…

- 家が古くなったので、建て替えたい
- 壁を新しくしたい
- 新しくお店を開きたい

下田市の人たちに対し、たとえば、家の改築、増築、新築の際に、まち遺産に該当するものの維持・保存に対し、配慮ある行動をとってもらい、また、下田市としても、補助などできる限りの努力をしていきます。

設計士や建設業界の人たちに、景観計画を理解してもらう広報活動をし、景観計画に即した設計プランをつくったり、現場の施工をしてもらいます。

しっかり読んで良い設計をしてください。

まち遺産の対象となるまちなみを良い形で残していくために、下田市として、これから新築・改築する建物の外観に対し“景観誘導”をしていきます。

景観誘導

こっちこっち

景観誘導とは、これから新築・改築する建物の持ち主に対し、市として“外観に對しこういう配慮をしてくれると嬉しい”という「配慮する基準」を示すことです。

配慮する基準①
設計士さんには、設計前の段階で、市としての景観計画の意向を伝え、周囲の歴史的景観や自然の風景に配慮ある設計を心がけてもらいます。

きれいなデザインにしてください。

ここは石にして、ここはうまき木を使おう。

配慮する基準②
特に、道路側に面した壁面・垣・柵には、自然素材（石、木、竹など）を生かした施工を心がけてもらいます。

ここは伊豆石の壁にしたらどうでしょう。

ナルホドナルホド

配慮する基準②のために、市としては

現場の大工さん、工務店さんには、伊豆石や地元の木材・竹材が安価に使用できるようにします。

不要になった伊豆石や瓦をストックしたり、間伐材、竹材などを有効利用できるシステムを市として考えていきます。

定年された職人さんや古い建物に興味のある人たちが、その技能や能力を生かして、まちづくりに関わっていただけるよう、体制を作っていきます。

洋風のケーキ屋さんをやりたいのですが、和風にしなないといけないのですか？

こんな人は…？

おわりに

それぞれの人が、それぞれの個性で暮していく、その結果がお店や家の形になっていきます。

下田の人たちが下田らしい暮らしをしながら、自然の素材を家の材料に取り入れていくという生き方が共通項となったとき、下田らしいまちなみとなるのではないのでしょうか。

それは家の高さ、屋根の傾きなど数値で表されるものではないし、この色は良くて、この色はダメといったカラーチャートで表されるものでもありません。

下田の人たちの自然や歴史を大切にしていくな個性が表現されたとき、下田らしいまちなみを創っていくことになるのだと思います。

地方から下田に新たに進出してくる組織・企業に対し、下田市としての方向性として、景観計画があることを説明し、理解してもらうための努力・働きかけをする。

今残っている歴史的建造物が、壊されることなく、再活用されるような方法を考え、バックアップしていきます。

こんな場合は…？

大地震で津波がおこるかもしれないので、4階建てにしたいのだけれど。

ピアノ教室の生徒が増えたので、教室の部屋数を増やすために、4階建てにしたいんですけど。

それもOKです！みなさんの仕事や生活を束縛するものではありません。

過去の歴史的建造物や自然景観に配慮して、自然素材を生かした建築であればよいのです。

下田のまちなみを表面的に統一しようとするものではありません。（時代劇の撮影にはよいかもしれませんが）

店舗、看板など工作物も含め、自然素材を生かし、配色などセンスあるデザインを心がけてもらう。

和風にしなないといけないのではありません。自然素材を生かしたデザインならばよいのです。

個人の自由は尊重します。

過度の刺激的な表現（けばけばしい配色、電飾）は、ひかえてもらう。

イエローカード ちょっとやりすぎー